

# 不退転

## PTAバレーボール大会

東江中学校  
名護市大東2-1-1  
校長 神元 勉

5月9日(土)、本校体育館において、校内PTAバレーボール大会を行いました。珍プレー、好プレー続出の中、激戦を制したのは、1年3組担任:上原太二でした。また、最多参加賞は、3年1組担任:比嘉義亮が受賞しました。おめでとうございます。

校内PTAバレーボール大会

### 優勝

### 1年3組

あなたたちのチームは、学級PTAが一丸となり、素晴らしい成績を得ました。このチームワークで子どもたちの良き手本となり、東江中「ナンバーワン」の学級になることを期待します。

平成27年5月9日  
名護市立東江中学校  
PTA会長 儀間 敦夫



## 活発な生徒総会

5月22日(金)の5・6校時に生徒総会を行いました。活発な質疑が行われ、第1号議案(決算書)から第5号議案(予算案)まで、提案通り可決しました。

■生徒会長あいさつ(篠田 大輔)

みなさん、こんにちは。今日は1年に1度、東江中学校の全生徒が集まり、今年度の生徒会活動や予算について話し合い、決定していく生徒総会の日です。

生徒会活動で使う生徒会費は、皆さんの保護者が



### 東江中学校人権宣言

前文 私たち生徒会は、笑顔があふれ、明るく楽しい学校をめざすため、次のことを宣言します。

第1条 「最高に輝く東江中」をめざします。(生徒会統一テーマ)

第2条 仲間を一人にせず、一人一人の個性を尊重し、温かい言葉と絆を大切にします。(言葉遣い)

第3条 きき合い、支え合い、学び合います。(授業)

第4条 一分一秒を大切に、けじめある行動と感謝の気持ちを忘れず、学習・部活動・生徒会活動に一生懸命に取り組みます。(時間のけじめ)

一生懸命働いて支払ったお金で運営されています。生徒総会は、このお金が、生徒会活動の中で、どのように使われるのかを知り、そのお金を大事に使わなければならないということを確認する場でもあります。今日の生徒総会に向けて、各学級では今年度の生徒会活動内容や予算などの確認を行ったと思います。そこで疑問に思ったことや新提案などを遠慮せずに、学級の意見として、この場でどんどん発表してください。

今年度の生徒会統一テーマは、『最高に輝く東江中』相互支援・いじめのない学校です。お互いを支え合い、誰も一人にしない。一人一人が輝いている学校を目指しています。このテーマを達成するためには、皆さんの協力が必要です。より良い学校を創っていくためにも、この場でしっかりと話を聞き、意見を述べてください。

# 夏季総体選手激励会

6月6日(土)・7日(日)に、中体連主催、第42回国頭地区夏季総合体育大会が行われます。大会に出場する選手の激励会を4日(木)の放課後、行いました。多くの保護者の皆さんが、会場へ足を運び、選手たちを激励してくださいますようお願いいたします。なお、会場周辺の路上や店舗等の駐車場への駐車は、禁止になっています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

それでは、会場、対戦相手、開始時間等をご紹介します。

- 軟式野球(名護球場)  
対 大宮中学校(10時30分)
- 女子バレーボール(21世紀森体育館)  
対 国頭中学校(10時)
- 男子バスケットボール(今帰仁村営体育館)  
対 有銘中学校(9時)
- 女子バスケットボール(本部町民体育館)  
対 宜野座中学校(12時45分)
- サッカー(大宮中学校運動場)  
対 大宮中学校(11時30分)
- 女子卓球(本部中学校体育館)  
対 名護中学校(10時)
- 男子ソフトテニス(名護市営庭球場)  
対 屋我地中学校(10時)
- 女子ソフトテニス(名護市営庭球場)  
対 伊江中学校(9時30分)
- 男子空手(大宮中学校体育館) 6月7日(日)  
対大宮中学校A(午後1時以降)



これまでの練習の集大成となる「負けられない戦い」のときが、いよいよ、やってきました。これから、3つのことについて話します。

1つ目は、全日本軟式野球大会全国大会出場記念碑に書かれた「負けない」についてです。野球部には、平成5年に全国3位、平成6年に全国準優勝という輝かしい実績があります。その時の合い言葉が「負けない」でした。皆さんにも、

## 「不退転」と「負けない」



どんな困難に遭っても、「負けない」心と「不退転」の魂で、最後まで貫き通す!!



ぜひ、「負けない」心と「不退転」の魂で、試合に挑んでほしいと願います。

2つ目に、『時を守り、場を清め、礼を正す』についてです。『時を守り』とは、機敏な行動を心がけるということ、『場を清め』とは服装を正し、試合会場やその周辺をきれいにすること、『礼を正す』とは、『礼を正す』とは、あいさつに始まるマナーを守るということです。

選手も応援団も『時を守り、場を清め、礼を正す』

を守り、選手と応援団が心をつなげて、中学生らしいはつらつとしたプレーと応援を期待します。3つ目に、『感謝の心を持ち続ける』ということです。これまで、皆さんは、家族をはじめ、顧問・コーチ・チームメイトなど、多くの方に支えられてきました。特に、顧問やコーチは、休みの日もボランティアで皆さんを指導してくれました。多くの方々への感謝の気持ちを『最高に輝く』プレーや応援で精一杯、表現してください。

最後まで、あきらめず精一杯、持てる力を発揮し、一人ひとりが心に残る大会になることを願っています。頑張ってください。



6名の名桜大学生による補習が始まりました(写真①)。卒業生の仲宗根颯也くんのお母さんが、エントランスに花を生けてくれました(写真②)。写真③は、金城詩乃さんの「平和」をテーマにした作品です。ありがとう!!